

三重県景気動向指数の改定について

令和4年10月3日

三重県では、景気循環を明らかにし、県経済の現状把握及び将来予測に資するため、景気動向指数を作成、公表しています。

今回、次のとおり採用系列の改定を行い、令和4年7月分以降の指数は新系列を用いて作成しています。改定に伴い、各採用系列及び各指数は過去に遡って改訂しています。

●採用系列の改定内容

1. 先行系列

「中小企業業況判断 DI（製造業、中部）」を追加

「景気ウォッチャー調査（現状判断 DI、東海）」を追加

2. 一致系列

「鉱工業指数（鉱工業用生産財、生産）」を削除

「電力需要実績（特別高圧）」を追加

「鉱工業指数（投資財、生産）」を追加

「延べ宿泊者数（従業者数10人以上）」を追加

3. 遅行系列

「鉱工業指数（製造工業、在庫）」を追加

「きまって支給する給与（製造業、30人以上）」を追加

●公表形態の変更

一致系列の「電力需要実績（特別高圧）」及び「延べ宿泊者数（従業者数10人以上）」について、毎月の資料作成時点では他の系列と同じ実績月の数値が公表されないため、今月以降の最新の資料の数値は、未公表の数値等を含む「速報値」として公表し、これらの数値が公表された後に数値を遡及改訂することとします。

なお、「電力需要実績（特別高圧）」の直近2か月間の数値が未公表の間は、以下の式による同系列の推計値を用いて景気動向指数を算出しています。

$$A^{-1} = A_{-13}(\text{前年同月値}) \times 7 \text{ か月後方移動平均}_{-3} \text{ の前年同月比}$$

$$A^0 = A_{-12}(\text{前年同月値}) \times 7 \text{ か月後方移動平均}_{-2} \text{ の前年同月比}$$

ただし、右下の数字は最新の景気動向指数の実績月からの時差を表し、

A^{-1} ：最新の景気動向指数の実績月の1か月前の電力需要実績の推計値

A^0 ：最新の景気動向指数の実績月の電力需要実績の推計値

<採用系列の新旧対照表>

改定前		改定後	
先行系列	新規求人数		鉱工業指数（生産財、生産）
	鉱工業指数（生産財、生産）		新規求人数
	自動車（新車）登録台数		自動車（新車）登録台数
	新設住宅着工戸数		新設住宅着工戸数
	銀行貸出未残（地域銀行、東海三県）	<追加>	中小企業業況判断 DI（製造業、中部）
	東証株価指数		東証株価指数
	日経商品指数（42種総合）		日経商品指数（42種総合）
			銀行貸出未残（地域銀行、東海三県）
一致系列	鉱工業指数（生産）		景気ウォッチャー調査（現状判断 DI、東海）
	鉱工業指数（鉱工業用生産財、生産）	←削除 <追加>	鉱工業指数（生産）
	輸入通関実績（四日市港）		電力需要実績（特別高圧）
	有効求人倍率	<追加>	輸入通関実績（四日市港）
	人件費比率（製造業）*		鉱工業指数（投資財、生産）
	百貨店・スーパー販売額（既存店調整値）		有効求人倍率
	所定外労働時間指数（製造業、5人以上）		所定外労働時間指数（製造業、5人以上）
			百貨店・スーパー販売額（既存店調整値）
			人件費比率（製造業）*
		<追加>	延べ宿泊者数（従業者数10人以上）
遅行系列	雇用保険受給者実人員*	<追加>	鉱工業指数（製造工業、在庫）
	常用雇用者数（製造業、30人以上）	<追加>	きまって支給する給与（製造業、30人以上）
	法人事業税調定額		常用雇用者数（製造業、30人以上）
	貸出約定平均金利 （地元地域銀行、総合ストック）		雇用保険受給者実人員*
	家計消費支出（二人以上の世帯・津市）		家計消費支出（二人以上の世帯・津市）
	消費者物価指数（総合、津市）		法人事業税調定額
			貸出約定平均金利 （地元地域銀行、総合ストック）
			消費者物価指数（総合、津市）

*のついた系列は、景気の動きに対して逆の動きを示す逆サイクルの系列。